

環境変動に伴う海洋生物大発生の予測 ・ 制御技術の開発

【162（165）百万円】

対策のポイント

大衆魚の魚種交替やクラゲ類の大発生が起こるメカニズムを解明し、魚種交替を予測する技術や、クラゲ類の大発生を予測、抑制する技術を開発します。

（魚種交替）

魚種交替とは、マイワシが増加するとサバ類が減少するように、複数の魚種が数十年周期で交互に大増減を繰り返す現象です。

政策目標

漁業資源を持続的に確保するための魚種交替予測技術の開発とクラゲ類の大発生を抑制する技術の開発

<内容>

1. 魚種交替の予測・利用技術の開発

環境変動に伴う餌生物生産の変化過程を解明し、イワシやサバ類等の魚種交替を予測する技術を開発することにより、漁業資源を持続的に確保する手法の開発を行います。

2. クラゲ類の大発生予測・抑制技術の開発

人為的な環境の変化等によるクラゲ類の発生を予測できる技術を開発するとともに、大発生を抑制する技術を開発します。

<実施主体等>

実施主体 民間団体等
実施期間 平成19年度～平成23年度

[担当課：農林水産技術会議事務局研究開発官（環境）（03-6744-2216（直））]